

○ 国際会議等の北海道開催の推進に係る基本方針 新旧対照表

(傍線部分は改正部分)

改 正 案	現 行
<p>平成20年10月24日 各省庁連絡会議申合せ 平成25年 月 日 一部改正</p>	<p>平成20年10月24日 各省庁連絡会議申合せ</p>
<p>平成20年7月4日の閣議了解に基づき国際会議等の北海道開催を円滑に推進していくため、この基本方針を定める。</p>	<p>平成20年7月4日の閣議了解に基づき国際会議等の北海道開催を円滑に推進していくため、この基本方針を定める。</p>
<p>1. 基本的な考え方</p>	<p>1. 基本的な考え方</p>
<p>(1) 国際会議等の北海道開催推進の意義</p>	<p>(1) 国際会議等の北海道開催推進の意義</p>
<p>平成20年7月7日から9日までの3日間、環境・気候変動問題などを主要テーマとする北海道洞爺湖サミットが開催され、「北海道」の名は世界に広まった。この好機を活かして国際交流を一層進め、地域の持続的な活性化に結びつけていくことが重要である。</p>	<p>平成20年7月7日から9日までの3日間、環境・気候変動問題などを主要テーマとする北海道洞爺湖サミットが開催され、「北海道」の名は世界に広まった。この好機を活かして国際交流を一層進め、地域の持続的な活性化に結びつけていくことが重要である。</p>
<p>「地球環境時代を先導する新たな北海道総合開発計画」(平成20年7月4日閣議決定)では、「アジアに輝く北の拠点～開かれた競争力ある北海道の実現」を戦略的目標のひとつとし、その実現に向け、国際会議や国際的な規模で開催される行事の誘致促進など、国際競争力の高い魅力ある観光地づくりに向けた観光の振興を図ることとしている。</p>	<p>「地球環境時代を先導する新たな北海道総合開発計画」(平成20年7月4日閣議決定)では、「アジアに輝く北の拠点～開かれた競争力ある北海道の実現」を戦略的目標のひとつとし、その実現に向け、国際会議や国際的な規模で開催される行事の誘致促進など、国際競争力の高い魅力ある観光地づくりに向けた観光の振興を図ることとしている。</p>
<p>また、「第7期北海道総合開発計画中間点検報告書」(平成24年12月国土審議会北海道開発分科会計画推進部会取りまとめ)においても、<u>北海道を訪れる外国人観光客の一層の拡大を図るため、国際会議等のMICEの誘致・開催の取組等をより一層推進する必要があるとしている。</u></p>	<p>国際会議の開催推進は、我が国が観光立国を目指す上での重要な取組のひとつである。観光立国推進基本計画(平成19年6月29日閣議決定)では、<u>国際会議の開催件数を平成23年までに5割以上増やすことを目標に、アジアにおける最大の開催国を目指し、官民一体となって取り組むこととしている。</u></p>
<p>国際会議の開催推進は、我が国が観光立国を目指す上での重要な取組のひとつである。観光立国推進基本計画(平成24年3月30日閣議決定)では、<u>国際会議の開催件数を平成28年までに5割以上増やすことを目標に、アジアにおける最大の開催国を目指し、官民一体となって取り組むこととしている。</u></p>	<p>国際会議等の北海道開催の推進により、我が国全体の国際会議開催数の<u>増加に貢献し、ひいては観光立国の実現に寄与するものと考えられる。</u></p>
<p>また、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)では、<u>海外から日本に対し、多くの人や優れた知見、投資を呼び込み、2030年にはアジアNo.1の国際会議開催国として不動の地位を築くこととしている。さらに、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」(平成25年6月11日観光立国推進閣僚会議取りまとめ)では、観光資源等のポテンシャルを活かし、世界の人たちを惹きつける観光立国を実現するために、「国際会議等(MICE)の誘致や投資の促進」を図ることが重要であるとしている。</u></p>	

国際会議等の北海道開催の推進により、我が国全体の国際会議開催数が増加し、上記に掲げた目標の達成に貢献するとともに、観光立国の実現に寄与するものと考えられる。

(2) 北海道による取組の強化

サミットの開催を契機に、北海道は、従来から進めてきた国際会議等の誘致の取組を強化することとしており、平成20年9月に、市長会、町村会、経済団体等とともに「北海道国際会議等誘致推進会議」を設置し、官民一体となって国際会議等の誘致に積極的に取り組んでいる。また、平成22年5月には、北海道内の地域情報や会議施設、宿泊施設等の情報を多言語で提供するウェブサイト「北海道コンベンションガイド」を開設し、国内外の会議主催者等への情報発信に取り組んでいる。今後、開催地としての北海道のブランド力を強く発信し、より多くの国際会議等が北海道で開催されるよう努めていくこととしている。

(3) 国による支援のあり方

サミットの開催効果を地域に根付かせていくためには、自治体、経済界など地域の多様な主体が自主的・積極的な取組を続けることが不可欠であり、また、こうした地域の努力を国として支えていくことが重要である。

国際会議等の誘致・開催にあたっては、開催地の観光魅力や地域としてのバックアップ体制など、地域の総合力が必要とされる。特に、国際会議等の誘致・開催に関して専門的能力を有する人材が不足しているといわれる現状では、地域と主催者、PCO（会議支援事業者）など関連業界との連携により、国際会議等の誘致・開催に関する経験を積み重ね、地域にノウハウを蓄積していくことが重要であると考えられる。

このため、国は、国が関与する国際会議等の北海道開催に積極的に取り組み、より多くの国際会議等が北海道で開催されるよう努めるほか、関係者の連携による地域の総合力強化を念頭に置いて必要な支援を行っていくこととする。

2. 具体的な取組

(1) 国の総合窓口の設置

国際会議等の北海道開催を推進するため政府部内の調整、北海道との調整等を行う総合窓口（以下「国の総合窓口」という。）を国土交通省北海道局に設置する。

国の総合窓口は、各省庁から国際会議等に関する情報を収集し、北海道と協力して地域に必要な情報が適時適切に伝わるようにするとともに、地域における情報を各省庁に伝達することにより、関係者間の情報共有の円滑化に努める。

(2) 国が関与する国際会議等の北海道開催の推進

各省庁は、所管の独立行政法人等と連携し、そ

(2) 北海道による取組の強化

サミットの開催を契機に、北海道は、従来から進めてきた国際会議等の誘致の取組を強化することとしている。平成20年9月11日には、市長会、町村会、経済団体等とともに「北海道国際会議等誘致推進会議」を設置し、官民一体となって国際会議等の誘致に積極的に取り組んでいくことを確認した。今後、食、環境、エネルギーなど北海道らしい分野がテーマの国際会議を中心に誘致活動に取り組むとともに、環境に配慮し、地域に根ざした会議運営手法の普及を図ることとしている。

(3) 国による支援のあり方

サミットの開催効果を地域に根付かせていくためには、自治体、経済界など地域の多様な主体が自主的・積極的な取組を続けることが不可欠であり、また、こうした地域の努力を国として支えていくことが重要である。

国際会議等の開催・誘致にあたっては、開催地の観光魅力や地域としてのバックアップ体制など、地域の総合力が必要とされる。特に、国際会議等の開催・誘致に関して専門的能力を有する人材が不足しているといわれる現状では、地域と主催者、PCO（会議支援事業者）など関連業界との連携により、国際会議等の開催・誘致に関する経験を積み重ね、地域にノウハウを蓄積していくことが急務であると考えられる。

このため、国は、国が関与する国際会議等の北海道開催に積極的に取り組み、より多くの国際会議等が北海道で開催されるよう努めるほか、関係者の連携による地域の総合力強化を念頭に置いて必要な支援を行っていくこととする。

2. 具体的な取組

(1) 国の総合窓口の設置

国際会議等の北海道開催を推進するため政府部内の調整、北海道との調整等を行う総合窓口（以下「国の総合窓口」という。）を国土交通省北海道局に設置する。

国の総合窓口は、各省庁から国際会議等に関する情報を収集し、北海道と協力して地域に必要な情報が適時適切に伝わるようにするとともに、地域における情報を各省庁に伝達することにより、関係者間の情報共有の円滑化に努める。

(2) 国が関与する国際会議等の北海道開催の推進

各省庁は、所管の独立行政法人等と連携し、そ

れぞれが関与する国際会議等（国際機関が主催する会議を含む。）の北海道開催に積極的に取り組む。また、開催に当たっては、「会議等の環境配慮のススメ」（環境省）などのガイドラインを活用し、環境に配慮し、地域に根ざした会議運営に努める。

各省庁連絡会議において、毎年、国が関与する国際会議等のうち向こう5年間に開催される見込みがあるものについて整理し、北海道において開催する計画を取りまとめる。また、新たに国際会議等の開催が予定された場合には随時登録し、国の総合窓口において取りまとめることとする。

(3) 地域の取組に対する各省庁の支援

各省庁は、所管の独立行政法人等と連携し、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」に掲げられた施策等の実施を通じ、地域の取組を国の内外で支援する。

（施策の例）

- ・ 各省庁所管分野の学会・民間企業・団体に対するMICE誘致・開催の働きかけ
- ・ 大臣招請レター発出等の誘致支援
- ・ 在外公館、国際観光振興機構等による誘致働きかけ

また、地域の資源・特性を活かした魅力ある観光地域づくりなど、国際会議等の開催環境の充実に資する取組を、関係省庁は地域と連携して推進する。

(4) 民間等への協力要請

国の総合窓口を中心として、北海道と連携し、民間が主催する国際会議等の北海道開催について関係団体等に働きかけ、その誘致に取り組む。その際、都府県在住の北海道出身者の団体など、道外北海道関係者のネットワークを活用する。また、PCOなど関連業界に対し、国際会議等の北海道開催推進についての理解と協力を働きかける。さらに、道内の大学が主催する国際会議等について、地域との連携を進めるため、地域との情報共有体制の構築等を働きかける。

(5) 推進状況のフォローアップ

各省庁連絡会議において、毎年、国際会議等の北海道開催の実績その他の推進状況を取りまとめ、公表する。また、この基本方針の内容について、必要に応じ見直しを図るものとする。

れぞれが関与する国際会議等（国際機関が主催する会議を含む。）の北海道開催に積極的に取り組む。また、開催に当たっては、「会議等の環境配慮のススメ」（環境省）などのガイドラインを活用し、環境に配慮し、地域に根ざした会議運営に努める。

各省庁連絡会議において、毎年、国が関与する国際会議等のうち向こう5年間に開催される見込みがあるものについて整理し、北海道において開催する計画を取りまとめる。また、新たに国際会議等の開催が予定された場合には随時登録し、国の総合窓口において取りまとめることとする。

(3) 地域の取組に対する各省庁の支援

各省庁は、所管の独立行政法人等と連携し、「国際会議の開催・誘致推進による国際交流拡大プログラム」（平成19年5月30日国際会議開催・誘致拡大局長級会合取りまとめ）に掲げられた施策等の実施を通じ、地域の取組を国の内外で支援する。

（施策の例）

- ・ 内閣総理大臣、官房長官、所管大臣等による招請状の発出
- ・ 在外公館、国際観光振興機構等による誘致働きかけ
- ・ 民間団体の誘致活動等に対する財政的な支援
- ・ 国際会議開催適地としての認知度向上プロジェクト

また、地域の資源・特性を活かした魅力ある観光地づくりなど、国際会議等の開催環境の充実に資する取組を、関係省庁は地域と連携して推進する。

(4) 民間等への協力要請

国の総合窓口を中心として、北海道と連携し、民間が主催する国際会議等の北海道開催について関係団体等に働きかけ、その誘致に取り組む。その際、都府県在住の北海道出身者の団体など、道外北海道関係者のネットワークを活用する。また、PCOなど関連業界に対し、国際会議等の北海道開催推進についての理解と協力を働きかける。さらに、道内の大学が主催する国際会議等について、地域との連携を進めるため、地域との情報共有体制の構築等を働きかける。

(5) 推進状況のフォローアップ

各省庁連絡会議において、毎年、国際会議等の北海道開催の実績その他の推進状況を取りまとめ、公表する。また、この基本方針の内容について、必要に応じ見直しを図るものとする。